

## ニカラグア定期報告（2013年5月）

2013年6月  
在ニカラグア日本国大使館

### 1 内政

- 7日 野党会派BDNより、2議員が離脱。
- 11日 AFP所属チリ人カメラマンが、その取材の仕方が安全基準を逸脱したとして、4日間拘束された後、移民局によりコスタリカへ国外追放。
- 12日 国家警察がエステリ市において、資金洗浄の疑いで家宅捜索等を行うも、後に捜査令状など必要な法的手続きを取らずに行っていたことが発覚。
- 14日 国会は、1961年の無国籍の減少に関する条約への加盟を承認。
- 18日 オルテガ大統領は、サンディーノ生誕記念式典に参加し、両大洋運河を建設することを改めて明らかにするとともに、投資額は4百億ドル超であり、ルートがサン・フアン河を通らないこと等に言及。
- 21日 オルテガ大統領は、2012年年間報告書を国会に提出。
- 24日 野党PLIは、2012年の統一地方選挙に不正があったとして最高選管（CSE）を米州人権委員会に告発。
- 28日 CSEは、2014年3月2日のカリブ海側自治地域選挙の政党の参加申請の受付を発表。

### 2 外交

- 3日 オルテガ大統領は、SICA・米首脳会合に出席（於：サン・ホセ）。
- 5日 オルテガ大統領は、第7回ペトロカリベ+ALBA首脳会合に出席（於：カラカス）。
- 7日 オルテガ大統領は、マリーキ・パレスチナ自治政府外務庁長官と会談（於：マナグア）。
- 8日 オルテガ大統領は、フォンセカ湾の問題に関し、ロボ・ホンジュラス大統領及びフネス・エルサルバドル大統領と会合（於：マナグア）。
- 9日 オルテガ大統領は、ボコヴァ UNESCO 事務局長と会談（於：マナグア）。
- 14日 国会は、台湾の東シナ海平和イニシアティブの支援決議を採択。
- 16日 サントス外相は、ヴェスターヴェレ独外相と会談（於：ベルリン）。
- 21日 サントス外相は、アシュトンEU上級代表と会談（於：ブリュッセル）。
- 22日 移民局が、ベネズエラ野党党員の入国を拒否。
- 23日 サントス外相は、ファビウス仏外相と会談（於：パリ）。
- 24日 ハレスレーベンス副大統領は、コレア・エクアドル大統領の就任式に出席（於：エクアドル）。

### 3 経済

- 1日 当地を訪問した国際コーヒー機関代表は、ニカラグアが雨期前にさび病対策を講じなければ、被害状況は悪化するであろうと警告し、さび病のために3万2千の雇用が失われた旨発言。
- 8日 トゥマリンドム（2017年完成予定）を建設する CHN 社は、同プロジェクト建設予定地の住人315人への補償金について協定が結ばれたことを発表。
- 12日 ニカラグア産業会議所ミッションがキューバを訪問し、キューバ商工会議所との間で通商関係増進のために各市場における新たなビジネス機会を探求する旨の2013-2015年の行動計画に署名。
- 14日 一般港湾法が可決。
- 23日 当地 Lacayo Fiallos 社は、石油精製所建設プロジェクト「ボリバルの至高の夢（“El Supremo Sueño de Bolívar”）」に関し、ALBANISA が覚書を締結している中国の CAMCE 社との契約により、第一フェーズとなる石油貯蔵タンクを建設中である旨発表。
- 28日 ゲバラ中銀総裁は、国会において、2013年のニカラグア経済の見通しについて報告し、4～5%の経済成長率、6.5%～7.5%のインフレ率、前年比6%の輸出増になることを明らかにした。

(了)